

つながる・つなげるライブラリアンを目指して

協働のススメ

国立大学図書館協会東京地区助成事業研修企画2013



現在、大学を取り巻く状況は大きく変わりつつあります。複雑化・多様化する環境の中で、大学図書館においても、チームで働くこと、図書館以外の人びとと「協働」して働くことが今後より重要となっていくのではないのでしょうか。いかにしてよりよく「協働」していくか、わたしたちひとりひとりが考え、経験し、学びを共有し、振り返り、さらに次の行動につなげていくことが求められていると考え、この研修を企画しました。

この研修では、**理論・事例・体験**の3方向から「協働」にアプローチし、実践に活かせるようになることを目指します。ワークショップを通じて、他の人びととの「協働」について改めて考えてみませんか？

理論

創造性を引き出すワークショップデザインを研究テーマとし、実践的な活動も数多く行っている講師から、「コラボレーションを促す場のデザイン」について学びます。

講師：**安齋勇樹**

1985年生まれ。東京都出身。私立武蔵高校、東京大学工学部卒業。現在、東京大学大学院 学際情報学府博士課程。商品開発、人材育成、組織開発などの産学連携プロジェクトに取り組みながら、創発的なコラボレーションを促進するワークショップの 実践と評価の方法について研究している。共著に『ワークショップデザイン論-創ること学ぶ』（慶応義塾大学出版会）、『協働の場のデザイン-ワーク ショップで企業と地域が変わる』（幻冬舎4月出版予定）がある。

つながる・つなげるライブラリアンを目指して 協働のススメ

事例

これまで、さまざまな大学で試みられてきた「協働」の取り組み事例について、教員、図書館外職員、若手職員、学生の視点から紹介していただきます。

ゲスト・スピーカー
 阿見雄之：博物館との協働
 （東京工業大学博物館）
 伊達精也：他部署の職員との協働
 （東京海洋大学）
 谷 奈穂：教員との協働
 （千葉大学）
 お茶大図書館LiSA：学生との協働
 （お茶の水女子大学）

体験

【理論】編、【事例】編での学びを活かしながら、ワークショップ（ワールドカフェ）を行います。自身の経験を振り返り、他の参加者との対話を通じて学びを深めます。

ワークショップ監修・進行
安齋勇樹
和泉裕之

【日時】2014年2月19日(水) 10:00-17:00

【会場】お茶の水女子大学附属図書館キャリアカフェ

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分

【お申し込み】

対象：大学及び研究機関の図書館職員の方 定員：25名

申し込み期限：2014年1月21日(火)

以下のURLからお申し込みください。

<http://goo.gl/4tiSvt>

（または、kokudai-maruken@lib.u-tokyo.ac.jp まで、所属と氏名を明記の上、お問い合わせください。）

※応募者多数の場合は、国立大学図書館協会東京地区参加館の方を優先させていただきます。

【お問い合わせ先】

企画・運営スタッフ kokudai-maruken@lib.u-tokyo.ac.jp

Facebookページ <https://www.facebook.com/kokudai.maruken.staff>

